

手作りの子育て支援で

お友達に出会いたい

“公園デビュー”小さな子どもを連れてお母さんが初めて公園に行くことを、いつの頃からかこう呼ぶようになりました。しかし、そのどこか大げさで重苦しいイメージのせいなのか、公園で子どもを遊ばせるお母さんが、年々少なくなっているような気がします。家の中で、少人数で一これがいまどきの子育ての傾向だそうです。そこで今回は、地域の人達と親達が協力して、未就園児とその親に友達づくりの場を提供している、「わくわくクラブ」をご紹介します。

親離れ、子離れへの階段

私達が、その活動場所である下野幼稚園を訪ねた2月21日は、3歳児のための「めだか組」が開かれていました。「めだか組」の17名の子ども達は、園庭や教室で、園児にまじり、元気に遊んでいました。11時を過ぎ、お弁当の時間が近づいてくると、何人かの女の子が指導者の言葉を真似て、「おかたづけだよー」と他の子ども達に知らせてまわりました。そして「ボクも手伝おうかなあ」という子も加わり、砂場のおもちゃの片付けが始まりました。指導者と一緒に、砂の付いたおもちゃを洗うため、洗い場に集まった子ども達は、「おさないで」「ボクが洗うよ」などと、とても賑やかです。「やっとこんなふうに、自分の気持ちを相手に伝えることができるようになってきたんですよ。ここは、幼稚園や保育園とは違い、親子で

の参加が基本です。お友達や私達指導者とのふれ合いをとおし、子どもの成長をサポートする

場なのです。最初はお母さんとばかり遊んでいた子ども達も、次第にお友達遊びができるようになり、自然に『ママは帰っ



平成14年発足。四日市の補助を受け「下野地区子育て支援事業運営委員会」が主催。地区による子育て支援活動は、四日市でも初めての試み。
【わくわくクラブ】0-3歳児の親子
日時：月曜日 9:00~11:30
会費：保険代のみ
【めだか組】3歳児の親子
日時：火曜日~金曜日 9:00~11:30・1:00
会費：5000~7000円/月（参加人数により決定）
※定員の25名になり次第締め切ります。

【問い合わせ先】下野地区市民センター
Tel.0593-37-0001

てもいいよ』という言葉が出てくるようになってきます。その気持ちを大切に、一人一人の子どもの成長を見守りながら対応してきましたが、今では、お母さんと離れて長い時間お友達と過ごせるようになりました。最近では、子ども同士衝突することも時々ありますが、それも成長のしるしです」。保育を担当する指導者のお話に、人とのかかわりの中で、たくましく成長していく子ども達の様子が伝わってきました。

子育ては親育て

この会は、下野幼稚園3歳児保育試行終了を機に、お母さん達の「子友達遊びの場がほしい」という熱い要望を、地域の人達が受けとめる形で、市の補助を受けて始まりました。そして、会計、パンフレット・お便りづくり、子育て学習会の開催、子ども達のおやつ作りなど、会の運営は、主に会員のお母さん達に任されているのだそうです。

「私ども地域の者は、ここを子育ての場であるとともに、親育ての場として考えています。親同士の交流、指導員さんとのやりとりや、会の運営をとおして、若いお父さん・お母さんが、親として人として大きく成長し、将来は、この地域を引っ張っていくような人材になってくれることを願っています」。この会の運営委員長を務める野呂親信さんの言葉に、子育ては親育てであり、子どもとともにその親も見守ってくれる、周りの人達の暖かいサポートが必要であることを強く感じました。

遊び会に行こう!

現在、四日市市立の幼稚園・保育園では、子育て支援事業として、園庭開放や遊び会を定期的実施しています。詳しい内容は、各園にお問い合わせください。

